

## 参加団体訪問-6 通園・通学路花むすびネットワーク

### 通園・通学路花むすびネットワークの活動内容

平成13年から、通園・通学路を花で飾る「花むすび花壇」を中心に、地域と学校が一体となったさまざまな活動を展開しています。主な活動は、足立区立第十一中学校の生徒を中心にした花むすびの日（毎月第2土曜日）、花むすび交換市（年2回）、花むすび茶会（年2回）、花の駅、さらに花むすび基金をつくり、地域株、花手形、花むすびコインを発行しています。



こんなにたくさんの皆さんが花むすびの日に参加しました

毎月第2土曜日は「花むすびの日」

あたたかい差し入れに身も心もいやされました！  
作業のあとには美味しいお汁粉が待っていました。あたたかな気持ち伝わってきます。



全長600メートルにわたる「東京ふれあいロード・プログラム」の協定花壇。地元の西綾瀬町会と共同で管理しています。

花の駅に集まった「花むすび六番」の皆さん。駅長さんと助役さんもお花の駅にある花の駅では、毎週月曜日、十一中の教室に一輪ずつ飾る花を用意しています。



通園・通学路花むすびネットワークは、きれいな花とありがとうの言葉で、路上のふれあいづくりを大切にしています。



リヤカーに花の苗を積み込んで、通行の邪魔にならないように気をつけながら、作業花壇に向かいます。行き交う地元の皆さんとも行く先々であいさつが交わされます。

地域の皆さんとも仲良くなれるので、部活との両立を目指して頑張ります！

花むすびで地域を花でいっぱいになりたいです！

花むすびは柔道部のように部全体で参加したり、個人でも自主参加できます。花が植えらることで自分たちの住むまちが少しずつきれいになり、心がやすらいでいくと思うので、休みの日で朝は眠いと思うけど、僕たち生徒会としては、もっと皆に参加して欲しいと思っています。



お帰りの声をかけるのも日課です



「お花をありがとう」の一言で元気ができます

自分で植えた苗がきれいな花を咲かせるのだと思うと楽しくなります！



生徒会長の上田翔太郎君(上)と副会長の犬熊啓太郎君(左)はともに陸上部に所属

四季折々の花に囲まれて、地域の皆さんが喜んでます。



西綾瀬町会会長 嶋津義三さん

町会の役員だけでなく、花を愛する地域の有志の方も参加して、十一中の花むすびに協力しています。毎月第4土曜日の朝7時から1時間という限られた時間ですが、町会員の交流の場にもなっています。

地域を思う皆さんのやさしい気持ちが「地域株」を支えています。



花むすび基金理事長 竹内栄一さん

平成17年に「花むすび基金」を設立して地域株を発行しています。これは自主財源の確保が目的ですが、地域に対して夢、希望、目標をしっかり訴えて、活動への関心、励まし、感謝という、精神的なものと一緒に集めたいという思いから誕生しました。

花むすびを通して地域への恩返し、の気持ちを身につけて欲しいです。



足立区立第十一中学校 笹サヨ子校長

今の中学生にはマイナスのイメージがつきまっていますが、地域の皆さんが教室に届けてくださる一輪の花のゆらぎが心を和ませます。地域の皆さんに励まされるという思いが子どもたちにも届いているのでしょうか。